令和５年４月20日

荒川区景況速報（令和５年１月～３月）

全 業 種 の 動 向

１　今期（１～３月）・次期（４～６月）の業況判断

※ＤＩとは、「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合

荒川区の今期は▲３２．５（前回調査時▲３２．６）とほぼ横ばい。次期も▲３１．２とほぼ前期並みと予想されている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では大きく改善の予想となっている。

２　今期（１～３月）の売上（１０～１２月と比較した状況）

「増加した」が１７．２％、「あまり変わらない」が３６．９％、「減少した」が４５．９％となっている。

３　最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか

「大いにマイナスの影響があった」が３１．８％、「マイナスの影響があった」が５３．５％、「変わらない」が１３．４％、「プラスの影響があった」が０．６％、「大いにプラスの影響があった」が０．６％となっている。

４　社会経済状況の変動がつづくなか、貴社の現在の経営課題について、当てはまるものを教えてください

「材料価格の上昇」が２７．５％、「売上の停滞・減少」が２７．２％、「利幅の縮小」が２１．６％、「人手不足」が８．３％、「競争の激化」が６．７％、「人件費の上昇」が６．４％、「その他」が２．４％となっている。

５　貴社の今後の重点経営方針について、当てはまるものを教えてください

「経費を削減する」が２６．１％、「販路をひろげる」が２３．９％、「社員の教育・育成を強化する」が１０．０％、「新たな人材を確保する」が９．７％、「品揃えを改善する」が９．０％、「新製品・新技術の開発を目指す」が９．０、「宣伝・広告を強化する」が６．１％、「その他」が３．２％、「キャッシュレス決済を導入する」が２．９％となっている。

６　貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください

「後継者の育成や確保」が２８．３％、「デジタル機器を活用した業務改善や企業改革（ＤＸ）の推進」が２３．９％、「特になし」が２２．２％、「災害等に備えるための事業継続計画（ＢＣＰ）の作成」が９．４％、「国連が目標として定める様々な社会課題（ＳＤＧｓ）の解決に向けた企業経営の推進」が５．０％、「温室効果ガスの排出量ゼロ（カーボンニュートラル）に向けた生産性改善や企業価値向上」が４．４％、「事業の売却や譲渡（Ｍ＆Ａ）」３．３％、「その他」が３．３％となっている。

＊　調査方法等

今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業２００事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は令和５年３月１０日に発送し、１５７事業所から回答（回収率７８．５％）がありました。また、集計値は四捨五入で表記しています。

（問合せ）荒川区　産業経済部　産業振興課　管理係　担当　山本・松村
電話：０３（３８０２）３１１１　内線：４４６・４７６

1　今期（1～3 月）・次期（4～6 月）の業況判断

⑴　全業種

荒川区の今期は▲32.5（前回調査▲32.6）とほぼ横ばい、次期も▲31.2 とほぼ前期並みの予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では大きく改善の予想となっている。

調　査　名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区　景況速報	**10～12 月**	**▲32.6**	**1～3 月**	**▲32.5**	**4～6 月**	**▲31.2**	
全国（中小企業庁中小企業景況調査）	10～12 月	▲22.9	1～3 月	▲13.7	4～6 月	▲13.5	
東京都（東京都中小企業の景況）	11 月	▲32.0	2 月	▲26.0	3～5 月	▲11.0	

⑵　製造業

荒川区の今期は▲35.0（前回調査▲23.4）と大きく悪化、次期も▲40.0 と悪化の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではやや改善、東京都では改善の予想となっている。

調　査　名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区　景況速報	**10～12 月**	**▲23.4**	**1～3 月**	**▲35.0**	**4～6 月**	**▲40.0**	
全国（中小企業庁中小企業景況調査）	10～12 月	▲19.2	1～3 月	▲13.6	4～6 月	▲10.1	
東京都（東京都中小企業の景況）	11 月	▲30.0	2 月	▲25.0	3～5 月	▲16.0	

⑶　卸売業

荒川区の今期は▲38.1（前回調査▲35.7）とやや悪化、次期も▲40.5 とやや悪化の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では大きく改善の予想となっている。

調　査　名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区　景況速報	**10～12 月**	**▲35.7**	**1～3 月**	**▲38.1**	**4～6 月**	**▲40.5**	
全国（中小企業庁中小企業景況調査）	10～12 月	▲21.3	1～3 月	▲9.8	4～6 月	▲7.9	
東京都（東京都中小企業の景況）	11 月	▲28.0	2 月	▲22.0	3～5 月	▲7.0	

⑷　小売業

荒川区の今期は▲35.9（前回調査▲51.2）と大きく改善、次期は▲33.3 とやや改善の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では大きく改善の予想となっている。

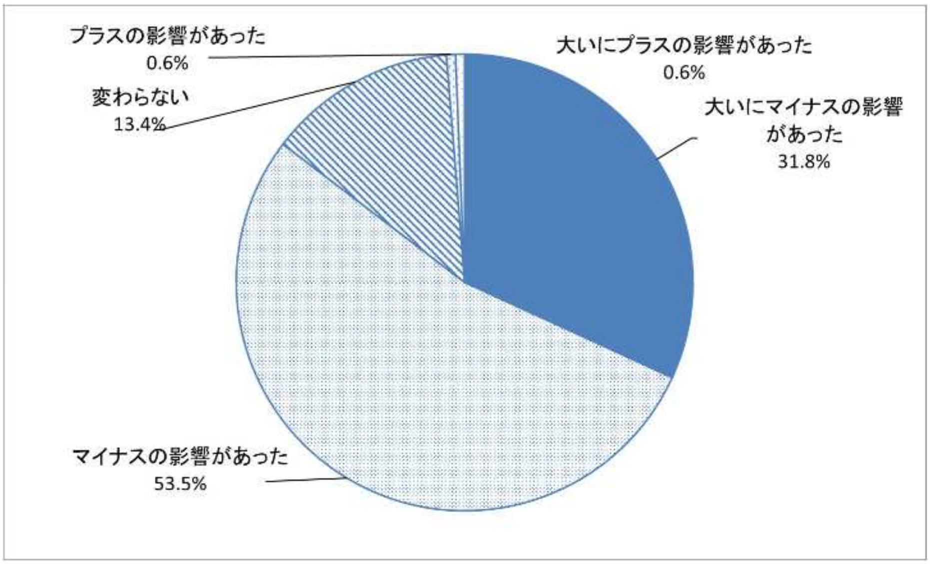
調　査　名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	**10～12 月**	**▲51.2**	**1～3 月**	**▲35.9**	**4～6 月**	**▲33.3**	
全国（中小企業庁中小企業景況調査）	10～12 月	▲31.0	1～3 月	▲22.9	4～6 月	▲23.0	
東京都（東京都中小企業の景況）	11 月	▲53.0	2 月	▲39.0	3～5 月	▲14.0	

２　今期（1～3 月）の売上（10～12 月と比較した状況）

「増加した」が１７．２%、「あまり変わらない」が３６．９%、「減少した」が４５．９%となっている。
（前回調査　「増加した」：２６．２%、「あまり変わらない」：３０．８%、「減少した」：４３．０%）
業種別では「増加した」が、製造業では１５．０%、卸売業では２３．８%、小売業では１０.３%となっている。

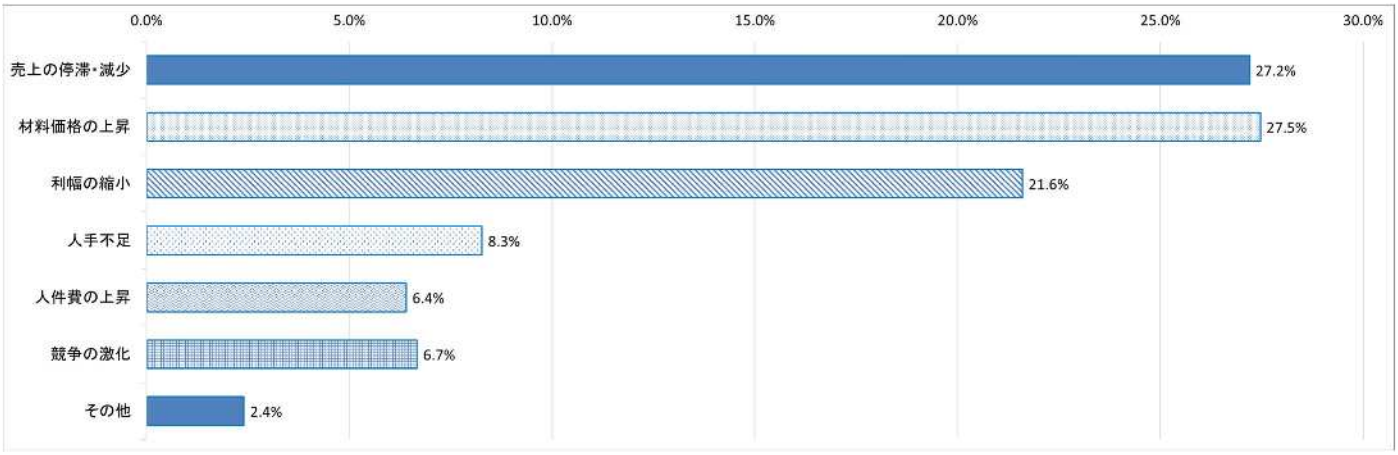
３　最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか

「大いにマイナスの影響があった」が３１．８%、「マイナスの影響があった」が５３．５%、「変わらない」が１３．４%、「プラスの影響があった」が０．６%、「大いにプラスの影響があった」が０．６%となっている。

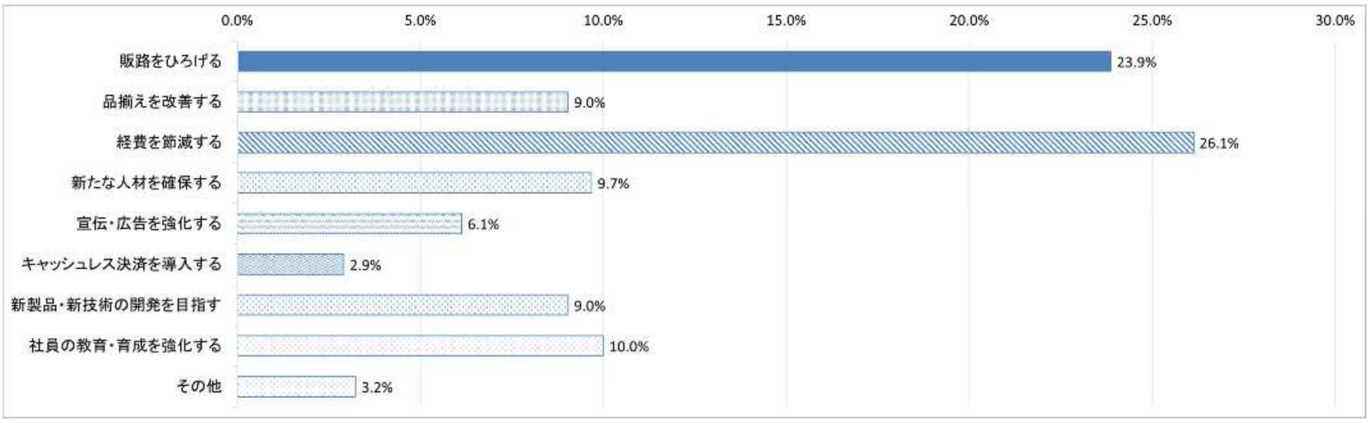


社会経済状況の変動がつづくなか、貴社の現在の経営課題について、当てはまるものを教えてください

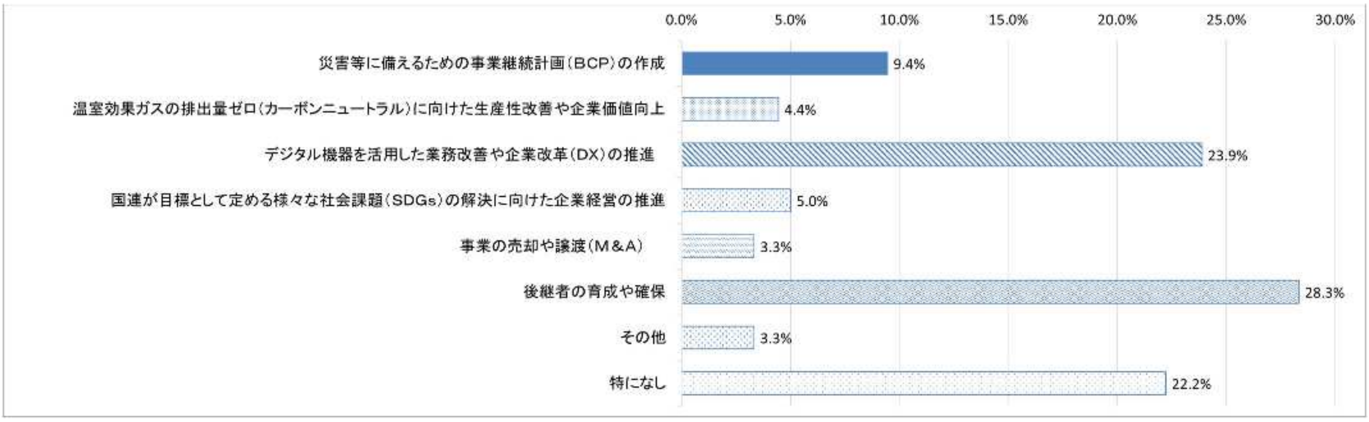
「材料価格の上昇」が２７．５%、「売上の停滞・減少」が２７．２%、「利幅の縮小」が２１．６%、「人手不足」が８．３%、「競争の激化」が６．７%、「人件費の上昇」が６．４%、「その他」が２．４%となっている。



貴社の今後の重点経営方針について、当てはまるものを教えてください
「経費を削減する」が２６．１％、「販路をひろげる」が２３．９％、「社員の教育・育成を強化する」が１０．０％、「新たな人材を確保する」が９．７％、「品揃えを改善する」が９．０％、「新製品・新技術の開発を目指す」が９．０、「宣伝・広告を強化する」が６．１％、「その他」が３．２％、「キャッシュレス決済を導入する」が２．９％となっている。



貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください
「後継者の育成や確保」が２８．３％、「デジタル機器を活用した業務改善や企業改革（ＤＸ）の推進」が２３．９％、「特になし」が２２．２％、「災害等に備えるための事業継続計画（ＢＣＰ）の作成」が９．４％、「国連が目標として定める様々な社会課題（ＳＤＧｓ）の解決に向けた企業経営の推進」が５．０％、「温室効果ガスの排出量ゼロ（カーボンニュートラル）に向けた生産性改善や企業価値向上」が４．４％、「事業の売却や譲渡（Ｍ＆Ａ）」３．３％、「その他」が３．３％となっている。

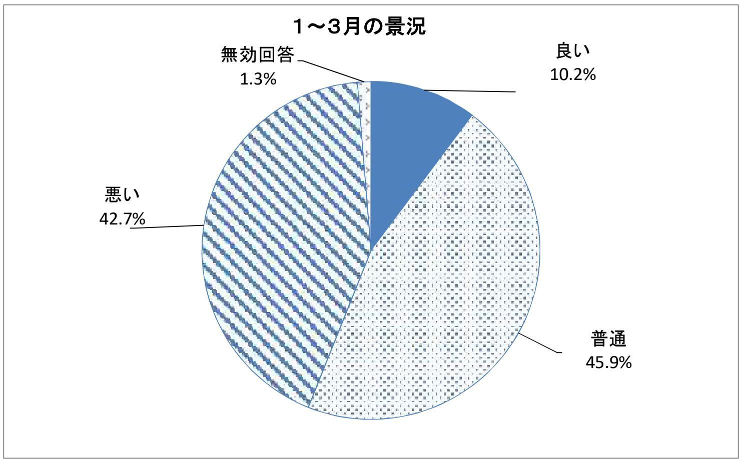


４ 主な自由意見等

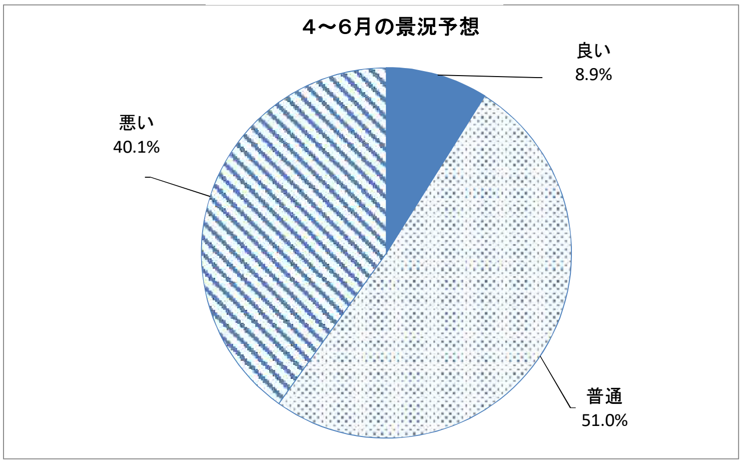
業種	内　　容
製造業	イベント等の減少により売上も下落していたが、収束しつつあるように思われる。今後の売上の上昇を期待している。
製造業	「企業は人なり」と言われるように、今後の人材育成が大きな課題になっている。
卸売業	新型コロナの影響等により販売量が低下しており、一方的に取引の停止を求めてきた仕入先があった。
卸売業	賃金を上げて優秀な人材を確保することが急務だが、売上が多少伸びても、それ以上に経費が上昇しており、ままならない。
卸売業	300円や500円ショップなどの安売り店が増えている。業界として付加価値を高める方策を考えなければならない。
小売業	商品が全て価格上昇しており、お客様の買い控えが目立つ。新型コロナも落ち着きがみられるようになり、いくらかでも売上が上昇していくことを願っている。
小売業	半導体不況の影響で売上が落ちている。2023年の後半には改善すると言われているので期待している。
サービス業	昨年から続く物価上昇により、仕入れ価格が軒並み値上げ傾向にあるため利幅が大幅に減少している。弊社だけではないとわかってはいるが非常に厳しい状況。
サービス業	（飲食店舗として）コロナ以前に戻りつつあるように感じている。
建設業	今後始まる国の「働き方改革」に、どう対応していくかが課題となっている。
建設業	受注が減少している。建築工事費の増加も影響している。

令和5年1月～3月　あら坊の景気ウオッチング［全業種］

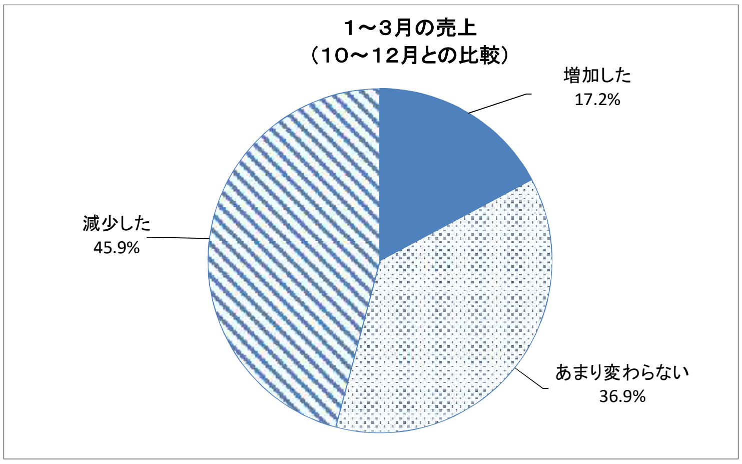
有効回答157事業所



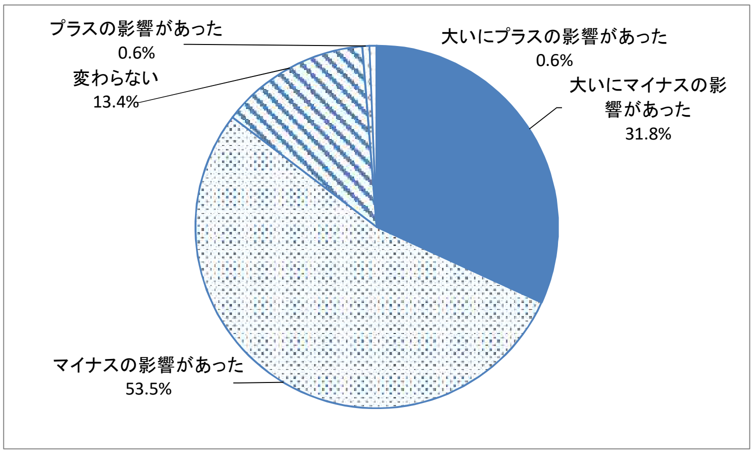
DI ▲ 32.5　＝10.2(良い) － 42.7(悪い)



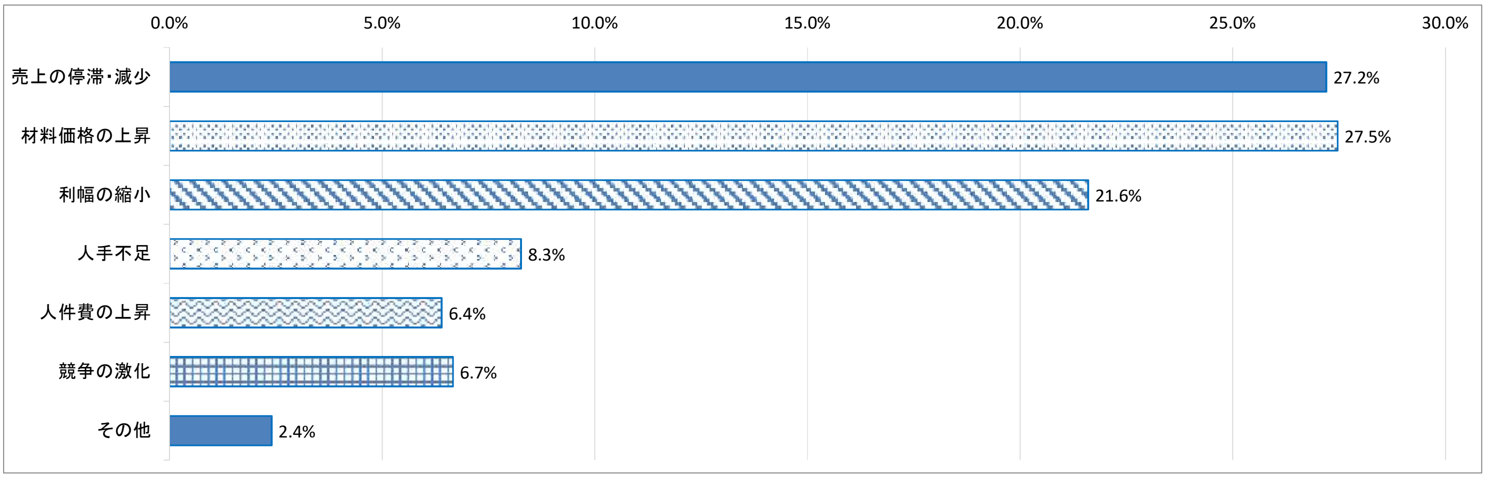
DI ▲ 31.2 ＝8.9(良い) － 40.1(悪い)



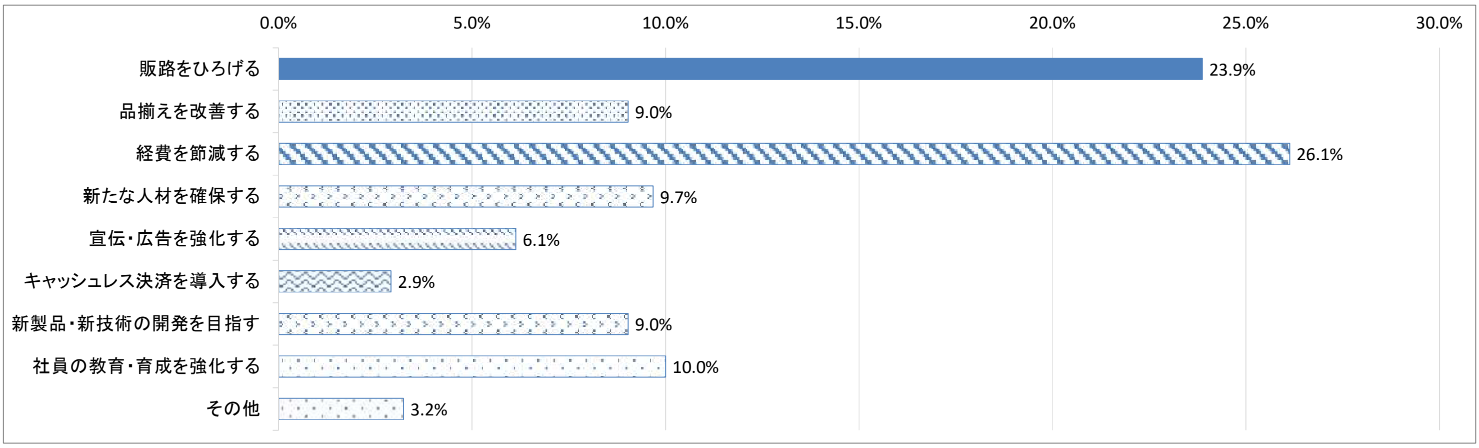
最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか（番号に〇）



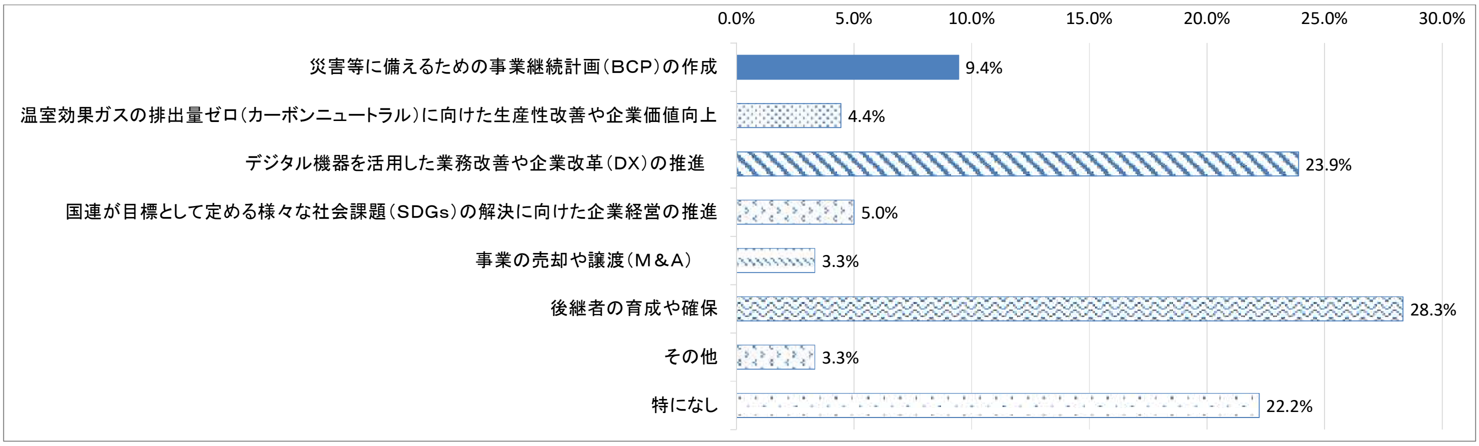
社会経済状況の変動がつづくなか、貴社の現在の経営課題について、当てはまるものを教えてください



貴社の今後の重点経営方針について、当てはまるものを教えてください

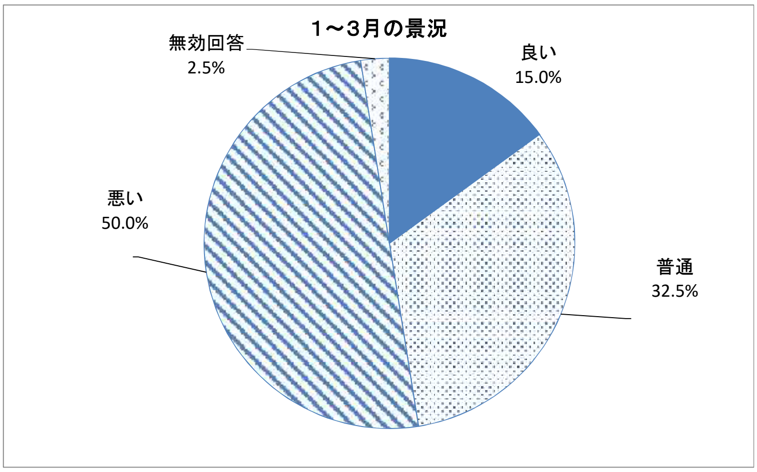


貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください

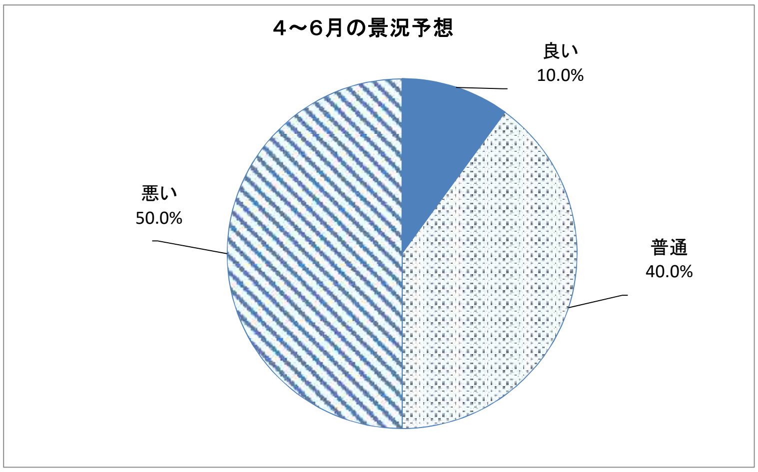


令和5年1月～3月　あら坊の景気ウオッチング ［製造業］

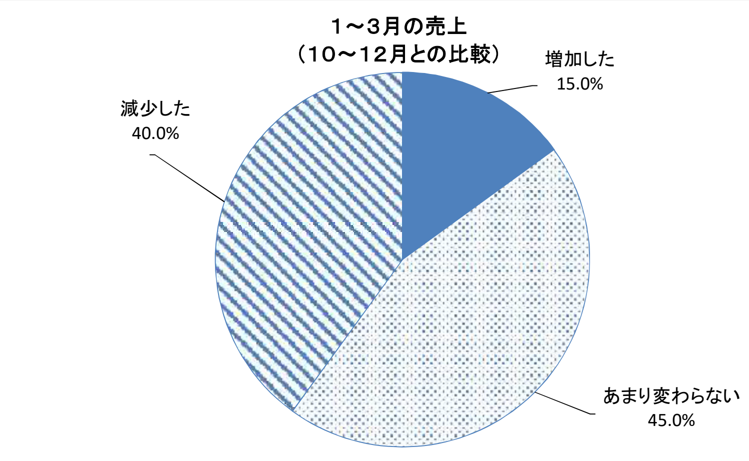
有効回答40事業所



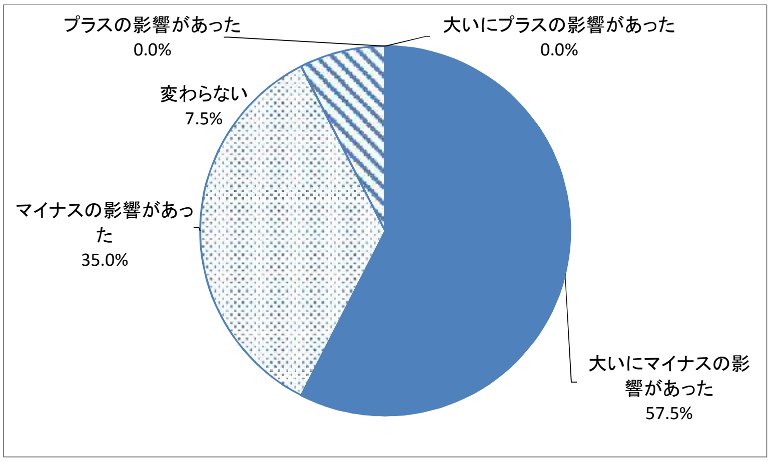
DI ▲ 35.0　＝15(良い) － 50(悪い)



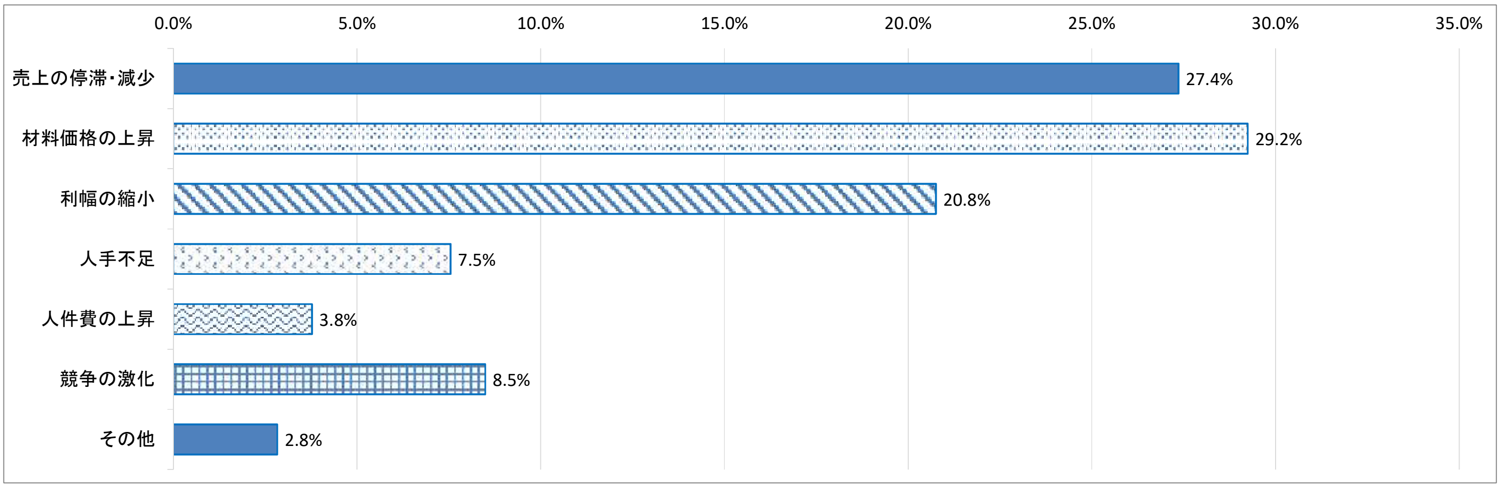
DI ▲ 40.0 ＝10(良い) － 50(悪い)



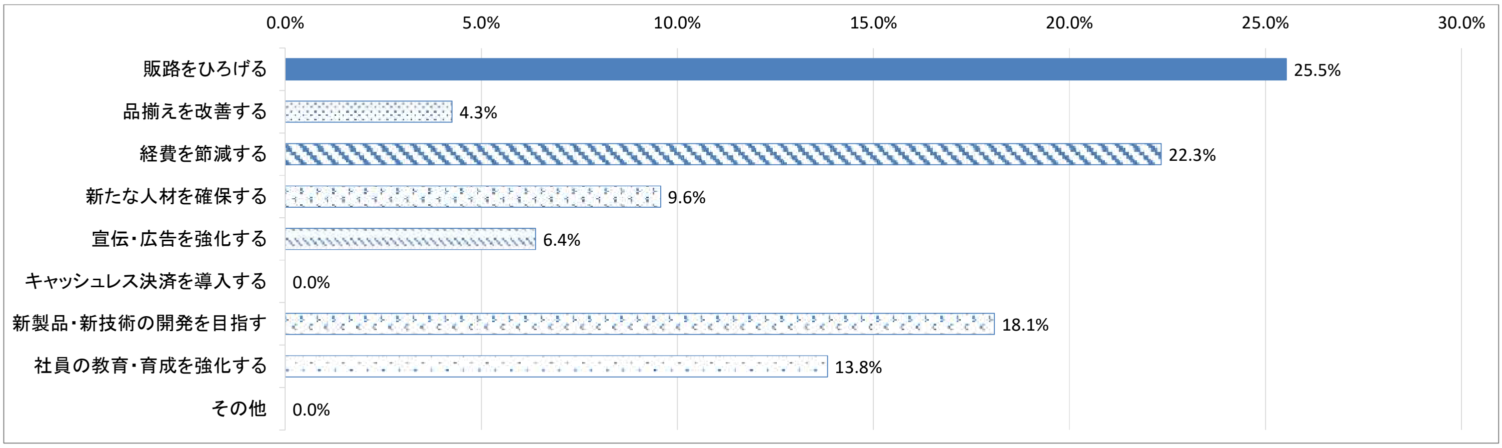
最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか（番号に○）



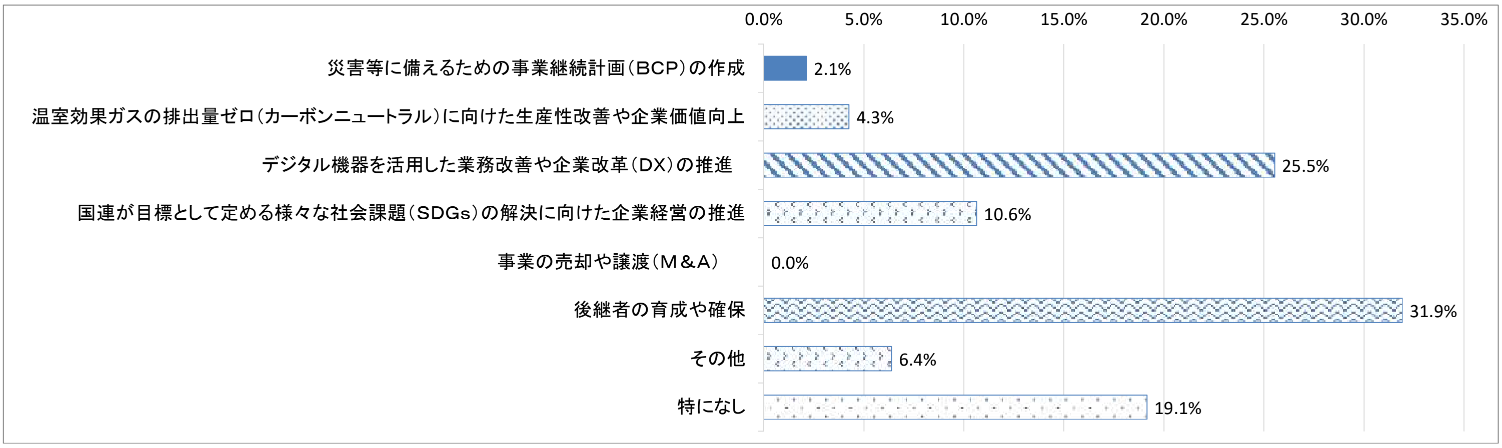
社会経済状況の変動がつづくなか、貴社の現在の経営課題について、当てはまるものを教えてください



貴社の今後の重点経営方針について、当てはまるものを教えてください

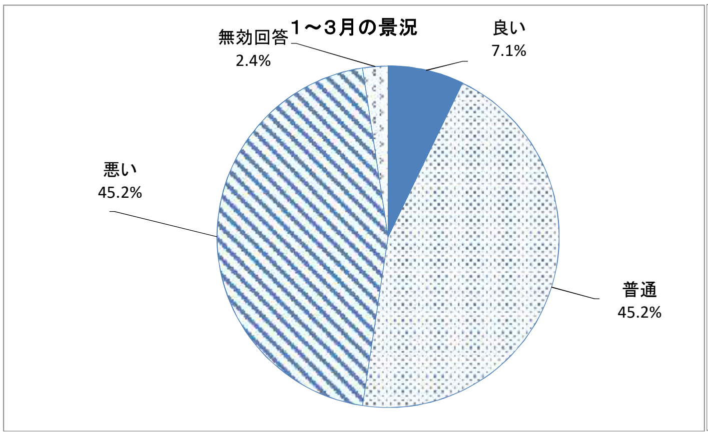


貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください

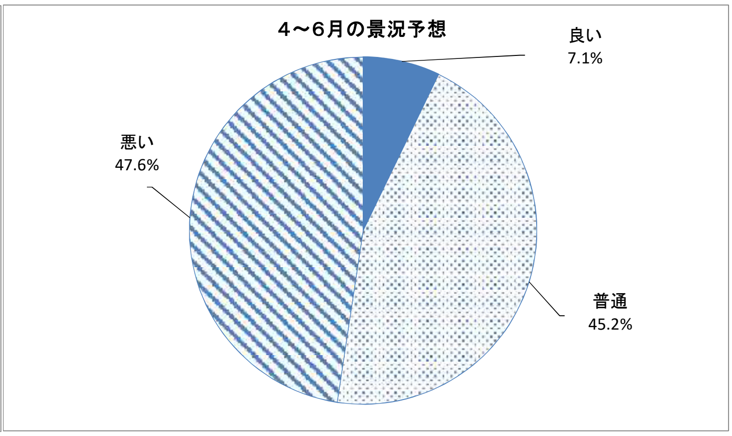


令和5年1月～3月　あら坊の景気ウオッチング［卸売業］

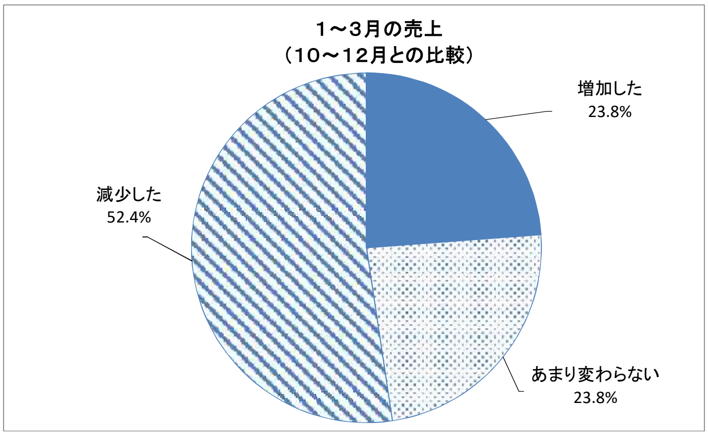
有効回答42事業所



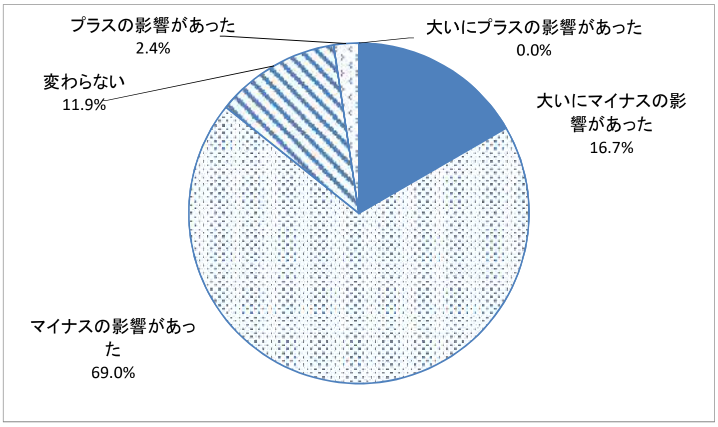
DI ▲ 38.1　＝7.1（良い） － 45.2（悪い）



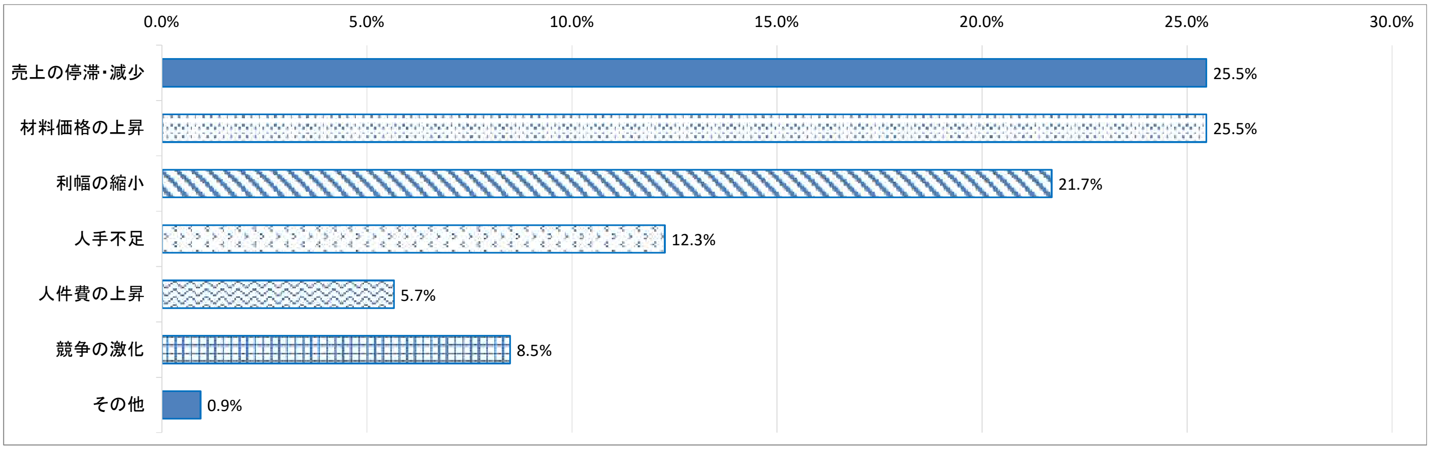
DI ▲ 40.5 ＝7.1（良い） － 47.6（悪い）



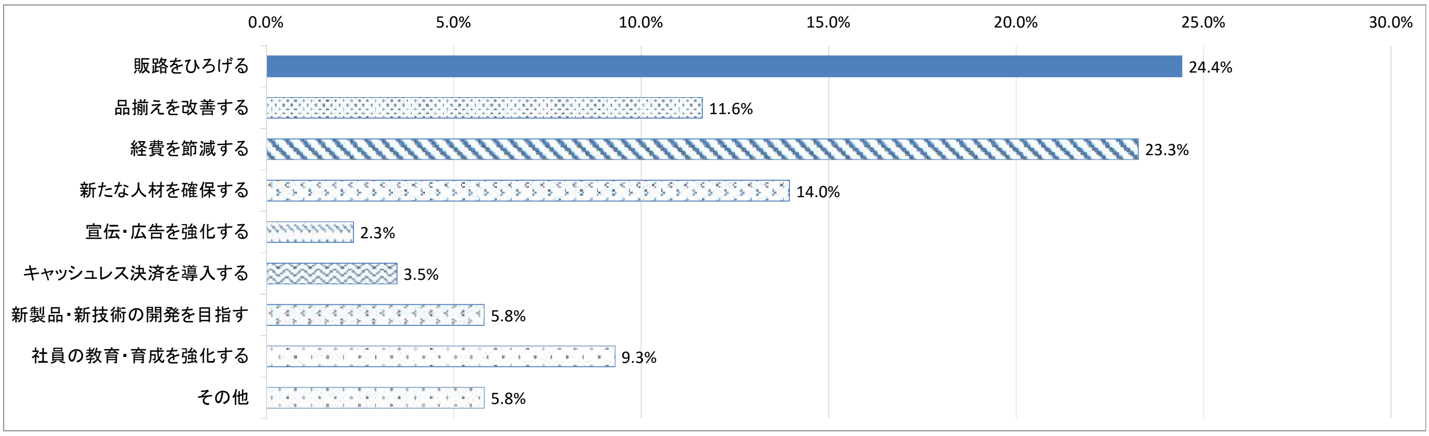
最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか（番号に○）



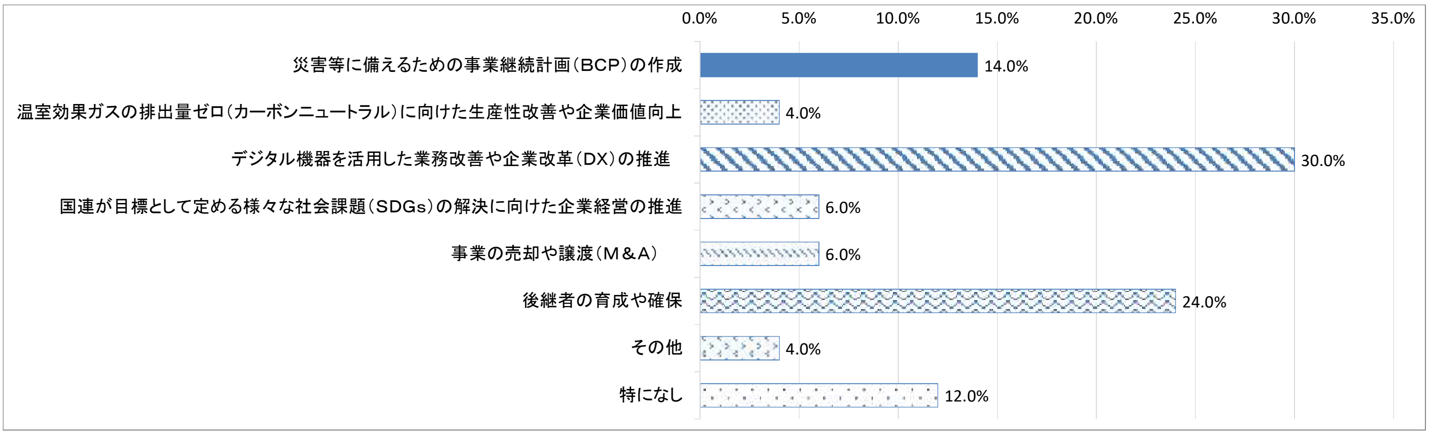
社会経済状況の変動がつづくなか、貴社の現在の経営課題について、当てはまるものを教えてください



貴社の今後の重点経営方針について、当てはまるものを教えてください

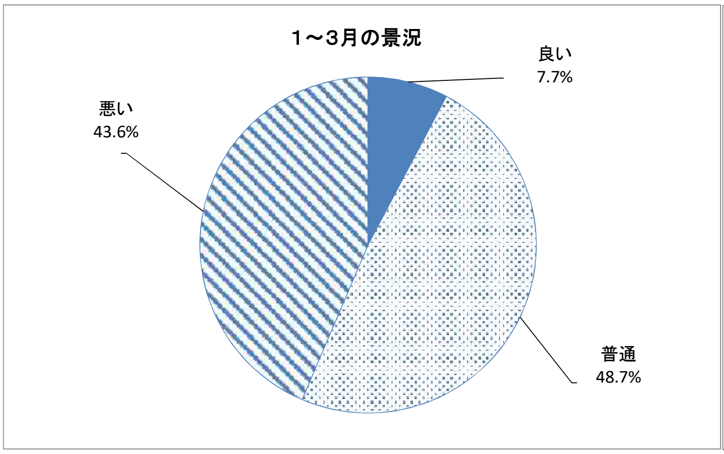


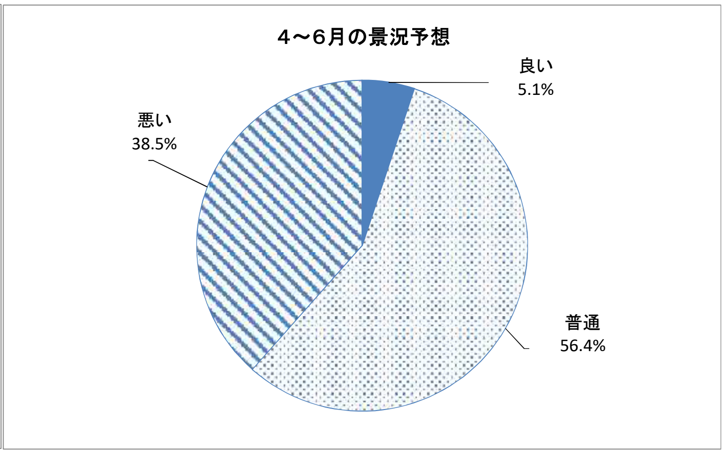
貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください



令和5年1月～3月　あら坊の景気ウオッチング［小売業］

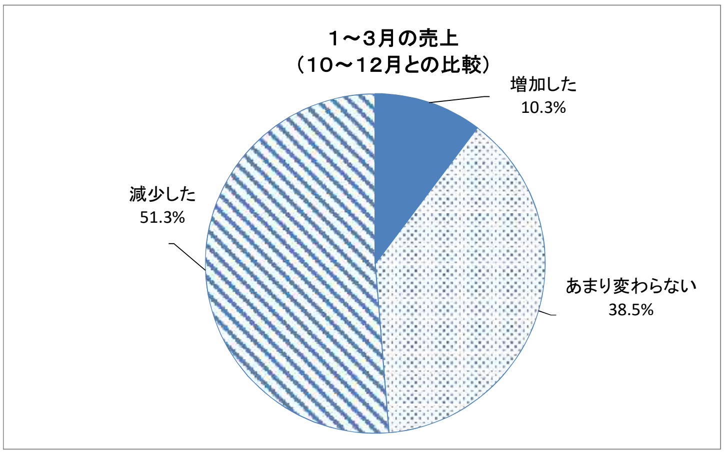
有効回答39事業所



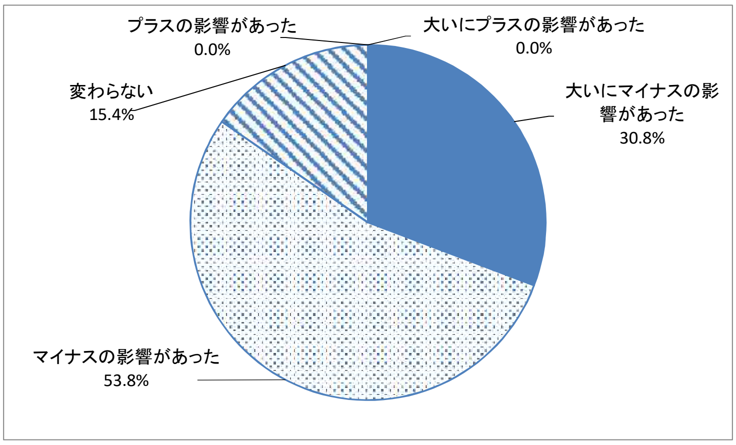


DI ▲ 35.9　＝7.7(良い) － 43.6(悪い)

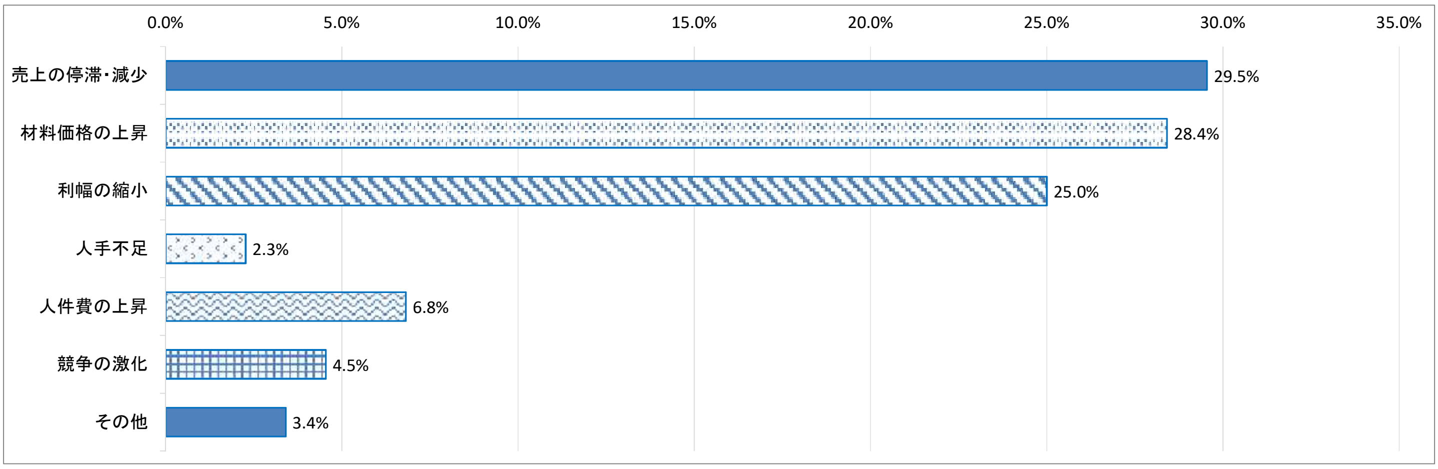
DI ▲ 33.3　＝5.1(良い) － 38.5(悪い)



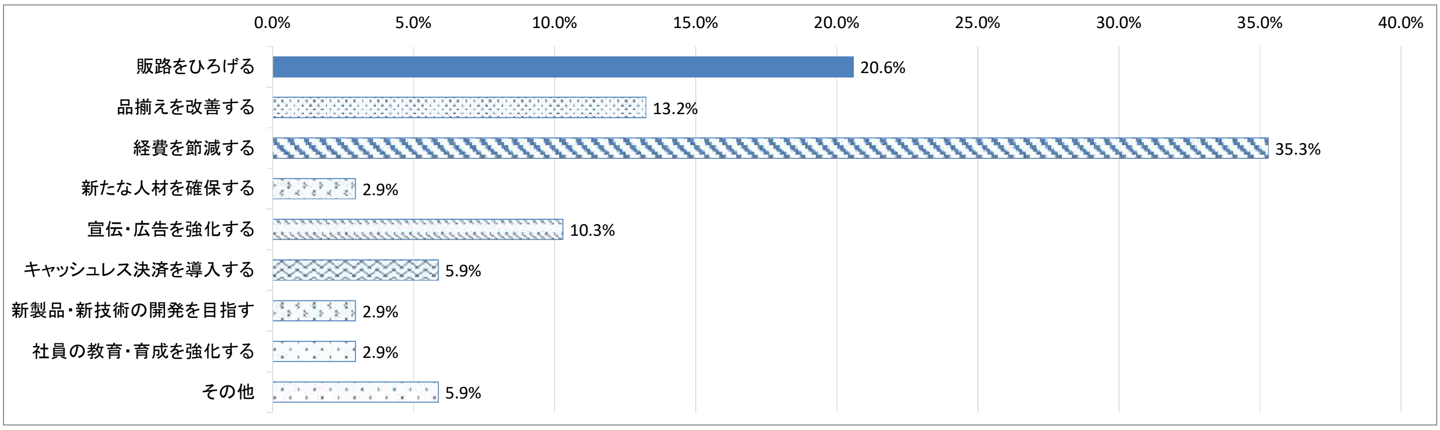
最近の「原材料」や「原油」などの高騰は、貴社の経営に影響を与えましたか（番号に○）



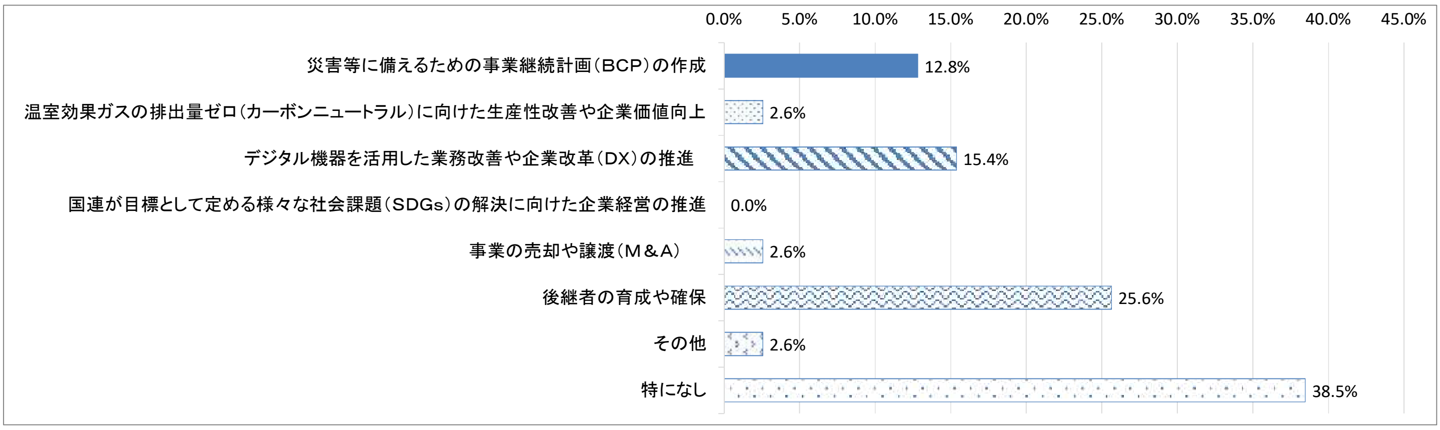
社会経済状況の変動がつづくなか、貴社の現在の経営課題について、当てはまるものを教えてください

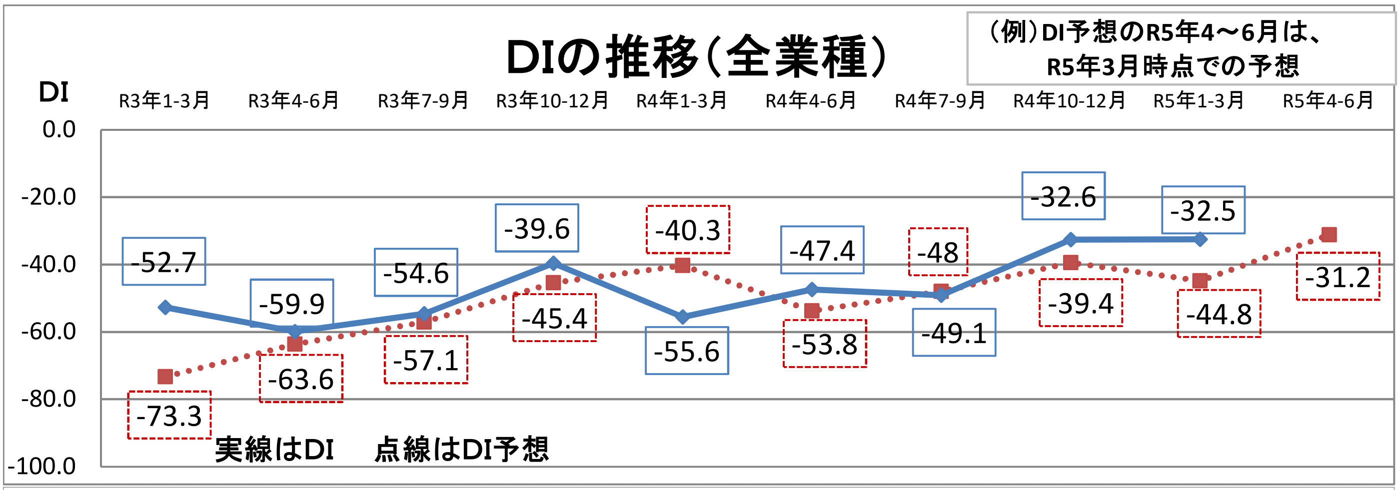


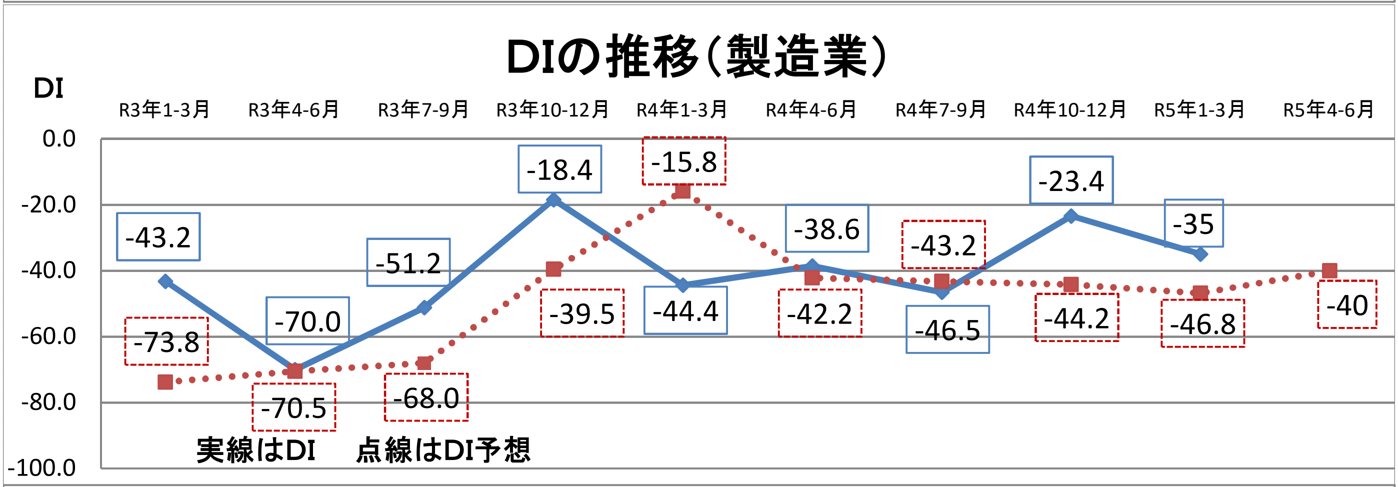
貴社の今後の重点経営方針について、当てはまるものを教えてください

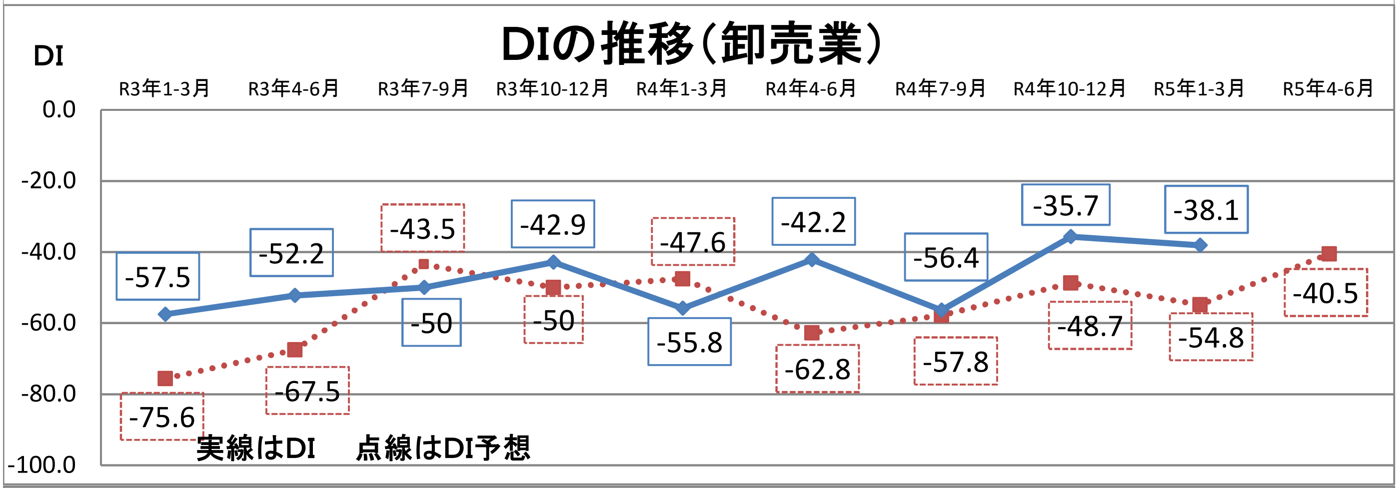


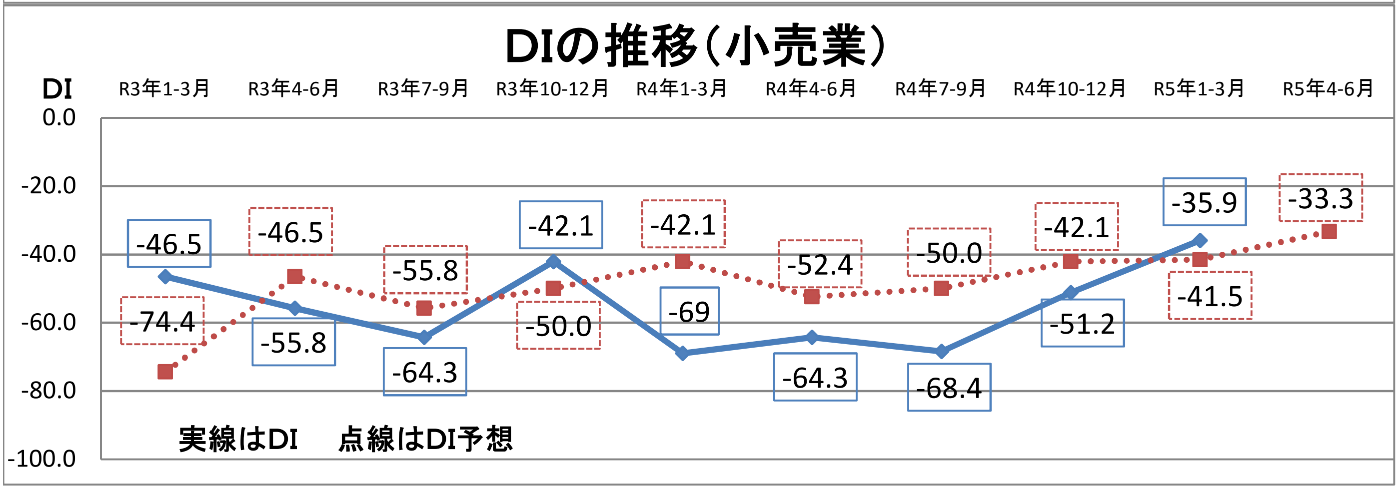
貴社が今後企業として取り組みたいことについて、当てはまるものを教えてください




DIの推移（全業種）
（例）DI予想のR5年4～6月は、
R5年3月時点での予想
DI
R3年1-3月
R3年4-6月
R3年7-9月
R3年10-12月
R4年1-3月
R4年4-6月
R4年7-9月
R4年10-12月
R5年1-3月
R5年4-6月
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
-52.7
-59.9
-54.6
-39.6
-55.6
-47.4
-49.1
-32.6
-32.5
-73.3
-63.6
-57.1
-45.4
-40.3
-53.8
-48
-39.4
-44.8
-31.2
実線はDI　点線はDI予想


DIの推移（製造業）
DI
R3年1-3月
R3年4-6月
R3年7-9月
R3年10-12月
R4年1-3月
R4年4-6月
R4年7-9月
R4年10-12月
R5年1-3月
R5年4-6月
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
-43.2
-70.0
-51.2
-18.4
-44.4
-38.6
-46.5
-23.4
-35
-73.8
-70.5
-68.0
-39.5
-15.8
-42.2
-43.2
-44.2
-46.8
-40
実線はDI　点線はDI予想


DIの推移（卸売業）
DI
R3年1-3月
R3年4-6月
R3年7-9月
R3年10-12月
R4年1-3月
R4年4-6月
R4年7-9月
R4年10-12月
R5年1-3月
R5年4-6月
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
-57.5
-52.2
-50
-42.9
-55.8
-42.2
-56.4
-35.7
-38.1
-75.6
-67.5
-43.5
-50
-47.6
-62.8
-57.8
-48.7
-54.8
-40.5
実線はDI　点線はDI予想


DIの推移（小売業）
DI
R3年1-3月
R3年4-6月
R3年7-9月
R3年10-12月
R4年1-3月
R4年4-6月
R4年7-9月
R4年10-12月
R5年1-3月
R5年4-6月
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
-46.5
-55.8
-64.3
-42.1
-69
-64.3
-68.4
-51.2
-35.9
-74.4
-46.5
-55.8
-50.0
-42.1
-52.4
-50.0
-42.1
-41.5
-33.3
実線はDI　点線はDI予想